

## 「乗る&歩く京都編」のおすすめ

当社の京都のりもの案内、書名「乗る&歩く京都編」は昭和時代に創刊以来、多くの学校様に修学旅行・校外学習・見学旅行など、また一般観光客の方々にも利用されて参りました。誠にありがとうございます。

観光の京都は、京都市域の比較的狭いエリアに観光スポットが集まり、効率的巡りが出来る町です。歴史を知り、学び、新しい世界を創造していく生徒さんには格好の国際観光文化都市です。

程よい広さで、自主研修・グループ見学等体験できる、生徒さんの自主・創造が養える町だと思います。

今、京都では「歩くまち・京都」憲章を定め、「わたしたちの京都では、市民一人ひとり、一健康で、人と環境にやさしい、歩いて楽しい暮らしを大切にします。そして、市民と行政が一体となって、一だれもが歩いて出かけたくなる道路空間と公共交通を整え、賑わいあるまちを創ります。一京都を訪れるすべての人が、歩く魅力を満喫できるようにします。」としています。

自家用車・タクシーの集中などの交通問題、外国人を含め観光客の集中などの観光公害等から、「京都観光のコツは、・鉄道とバスを上手に使いこなすこと・目的地の近くまで鉄道で一気に移動することそのあとは、歩いたり、バスに乗ったりすれば、時間の無駄なく回れます。やむを得ずクルマでお越しの方は、パーク&ライドが便利です。」と謳っています。

観光におけるSDGs（エス・ディー・ジーズ）の達成には五つの視点、一、包括的・持続的な経済発展に貢献する観光、二、社会的な関わり、雇用拡大や貧困の撲滅、三、資源の有効活用、環境保護や気候変動、四、文化的価値・多様性・遺産保全に貢献する観光の役割、五、相互理解・平和構築・安全／安心に貢献する観光の役割、が必要とされています。地球温暖化対策の一つ、CO2 排出量削減も大きな課題です。大量の人を輸送できる鉄道・バスの利用はますます必須となってゆくものと思われまます。

最近の京都修学旅行生グループでは、スマートフォン・タブレットで検索して京都巡りをされている方々をよく見かけます。学校様としてはタブレット利用促進、路線図さえあれば可能あるとか、ガイド本購入のコスト減等でお勧めの方々がいらっしゃるようです。ある程度の面積の都市での公共交通は、複雑で循環バス等もあり、東西南北が分からない見知らぬ土地では無謀です。

スマートフォン検索ではよく知る方ならともかく、あまり慣れない方なら、目的地バス停を一か所ずらすだけで、よきルートが見つかりスムーズな移動ができます。

ターミナル・繁華街交差点など同名バス停が、あまりに多く、乗るべきバス停を間違え、目的地と逆方向のバスや、循環バス遠回りコースのバスに乗ってしまって、運転手さん・同乗市民の方等から指摘されているケース、また、バス停を迷ったのかあわてて移動しているグループを近年よく見かけます。小走りはご本人にも回りの方にも危険ですね。

旅なれた大人でも、あまり見知らぬ町でバス利用は不安です。地元京都の人でも、通勤・通学でのルート以外は、どの系統のバスを使うべきなのか、どのバス停から乗車すればよいのか、分からない方が多いです。

せっかくの一度きりの修学旅行で、行き方、帰り方に不安では、修学旅行が楽しめないのではないのでしょうか。

どうぞ、実績あり、評価いただき、刊行しているユニプランの京都のりもの案内、書名「乗る&歩く京都編」をご利用下さいませ。